



特別講演

平成24年度入学式OB特別講演会 モノづくり立国 日本の再生

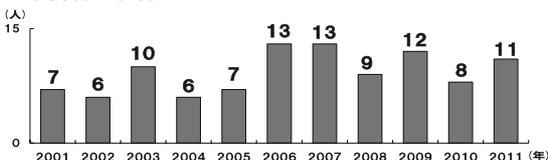
トヨタ車体株式会社 代表取締役会長 水嶋 敏夫 (M42)

産業会で活躍されているOB企業人が、希望に燃える新入生とその父兄に語りかける特別講演会も今年で4回目を迎えた。長島 徹・帝人会長 (W40)、鈴木泰信・NTN会長 (K34)、牛込 進・TYK会長 (Y33) と紡がれた糸は、水嶋敏夫・トヨタ車体会長 (M42) へと託された。講演に先立ち、高橋 実学長から講演会の趣旨説明と講師紹介がなされたのち、掲題の講演がなされた。以下にその概要を記す。

講演者ご自身による簡単な「自己紹介、トヨタ車体株式会社の概要紹介」に始まり、「日本の自動車産業の状況と課題」、「トヨタ生産方式とトヨタの経営」、そして「新入生への期待」について、わかりやすい言葉で丁寧な解説がなされた。会社概要については詳細な記述は省略するが、トヨタ車体株式会社における名古屋工業大学卒業生の在籍者数は213名にのぼり、出身大学別ではトップの位置を占めており、各部門で活躍していることが紹介された。

【当社の名古屋工業大学卒業生の状況】

<年度別入社数>



<在籍者数>

部門	在籍人数
開発	96人
生産技術	68
生産	33
事務	4
出向(国内外)他	12
計	213

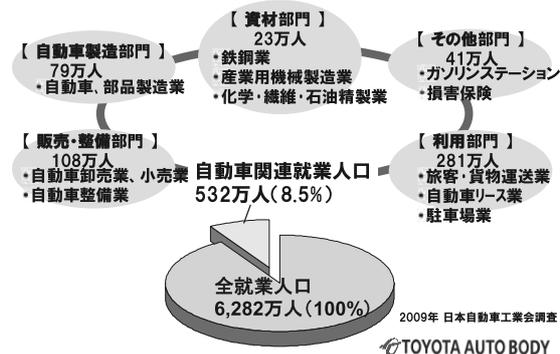
・出身大学別在籍者数は
名古屋工業大学が
トップ!

TOYOTA AUTO BODY

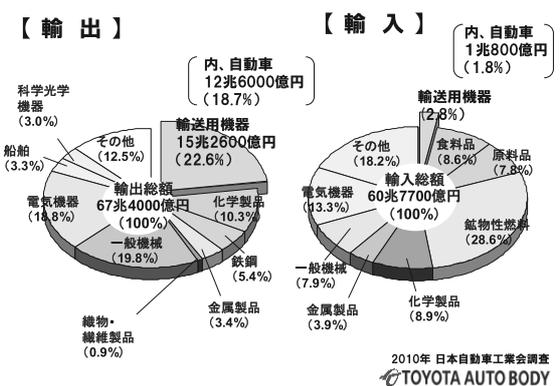
続いて、「日本の自動車産業の状況と課題」について、日本全体の就業人口のうち、自動車関連の就業人口が約1割 (8.5%) を占めていること、また自動車の輸出額が輸出全体の18.7%を占めていることから、日本における自動車産業の位置づけ、重要性について説明がなされた。

【自動車産業の特徴】

<自動車関連産業と就業人口>



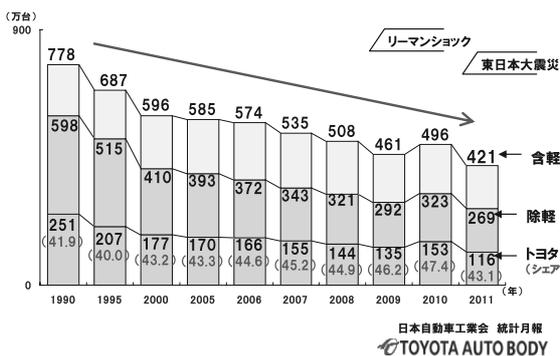
<輸出入に占める自動車の割合>



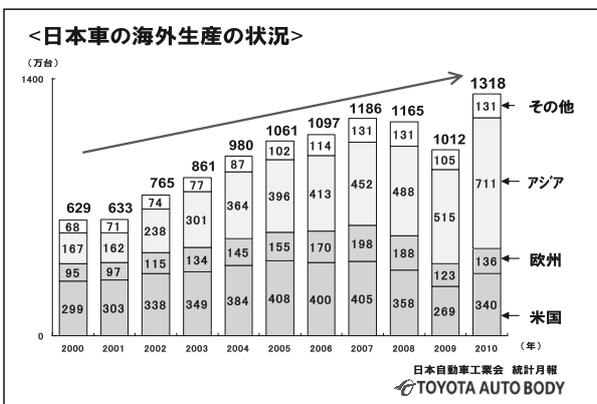
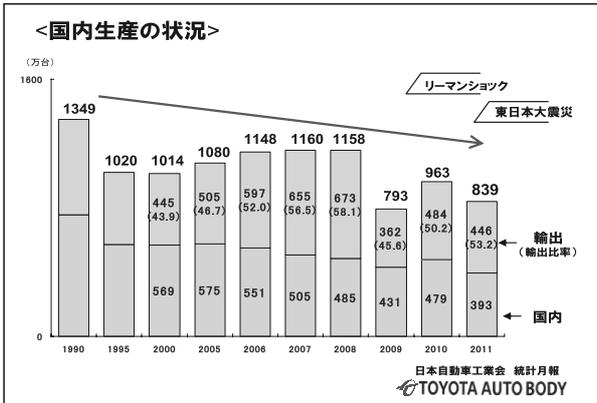
また、自動車の販売・生産について、国内市場の成熟や海外での現地生産化を受け国内生産台数が減少する中、産業の空洞化を防ぐべく国内での生産を維持することが課題であるとしつつ、一方では新興国を中心とした海

【自動車産業の状況】

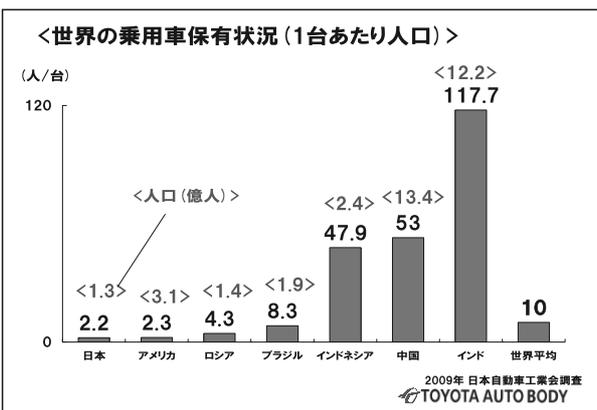
<国内市場の動向(国内販売台数推移)>



外生産への対応も重要であり、グローバル人材の確保、育成が課題であるとの認識が示された。



更には、世界市場という観点から、日本では一台あたりの人口が2.2人と成熟しているものの、中国では53人、インドでは117.7人と、まだまだ伸びることが期待できる成長産業であるとの認識も披瀝された。



一方で自動車産業が抱える課題として、環境に配慮したパワートレインの開発や情報技術の活用による車両安全性の向上などが示され、それぞれについての解説もなされた。

次いで、「トヨタ生産方式とトヨタの経営」について、講演者の経験を交えながら新入生、父兄にも分かりやすい言葉で解説がなされた。

まず、企業としての国際競争力を確保するために、大切なこととして、品質・価格の視点から具体的な事例を交え「より良い品質のものをより安く」作ることの必要性和、そのための原価低減について話された。

【企業としての国際競争力】

「より良い品質のものをより安く」

1) 品質とは

- ・お客様が求める商品価値の提供
- ・多様な選択
- ・タイムリーな納車
- ・サービス(アフターケア)

TOYOTA AUTO BODY

2) 価格とは

① 原価と価格の関係

- ・利益 = 価格 - 原価
- ・原価 + 利益 = 価格

② 原価とは

- ・製造原価 (設備投資、材料費、労務費)
- ・研究開発費
- ・販売、宣伝、事務費用

TOYOTA AUTO BODY

3) 原価低減

⇒ ムダを省く

- ① 製造コストの削減 (生産性向上、設備投資削減等)
- ② 研究開発の効率化による開発費削減
- ③ 販売、事務の効率化による経費削減

◆ 品質不良と原価低減の関係

- ・原価低減: ムダの排除 ≠
- ・品質不良: やるべきことをやらなかったり、手を抜いてしまったことにより発生するもの

TOYOTA AUTO BODY

【トヨタ生産方式 = 徹底したムダの排除】

「ムダとは」

→ 商品に付加価値をつけないすべてのもの、または作業

【仕事】

付加価値作業	ムダな作業
--------	-------

<目に見えやすいムダ>

- ・手待ちのムダ
- ・歩行など動作のムダ
- ・不良品に対する手直しのムダ
- ・運搬のムダ

<目に見えにくいムダ>

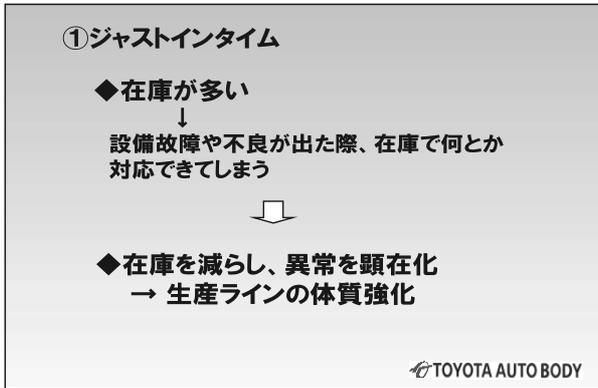
- ・作りすぎによる在庫のムダ

<トヨタ生産方式の2本の柱>

- ① ジャストインタイム
- ② 自動化

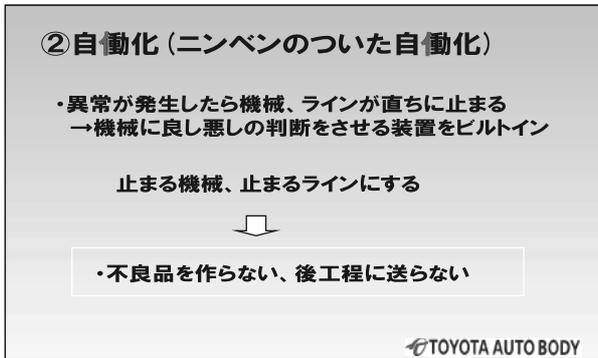
TOYOTA AUTO BODY

そして、トヨタ生産方式が生まれた歴史、トヨタ生産方式とは徹底したムダの排除であること、そのムダ排除に向けたトヨタ生産方式の2本の柱である「ジャストインタイム」、「自動化」について絵、ビデオを用いて分かりやすい説明がなされた。(絵、ビデオについては省略)



【ジャストインタイムとは】

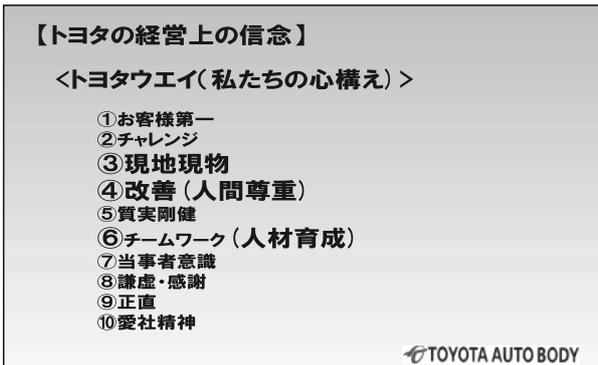
ジャストインタイムとは必要なものを必要な時に必要なだけ作ることにより在庫を減らし、管理コストを削減するとともに、在庫のかげに隠れている問題を顕在化させることをねらったものである。



【自動化とは】

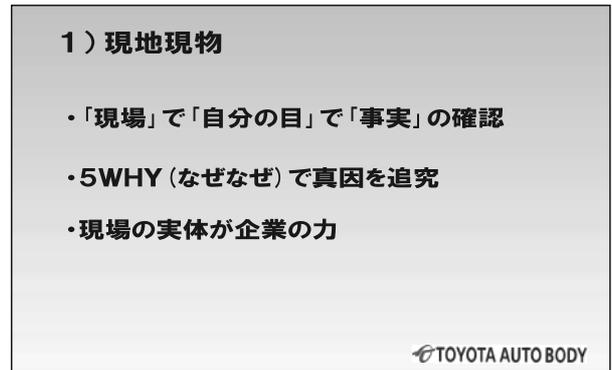
ニンベンのついた自動化とは機械、作業に異常が発生した時、自動的に機械・生産ラインを止め、不良品を作らない、後工程に送らないことをねらったものである。との説明がなされた。

続いてトヨタの経営上の信念として10項目

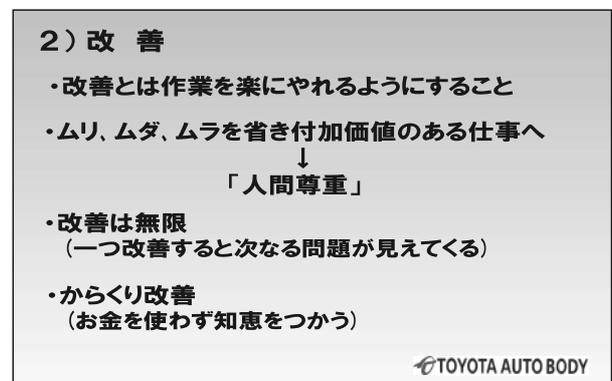


からなる「トヨタウェイ(私たちの心構え)」が示され、その中から現地現物、改善、人材育成について、その心、意図するところが語られ、その大切さを訴えかけられた。

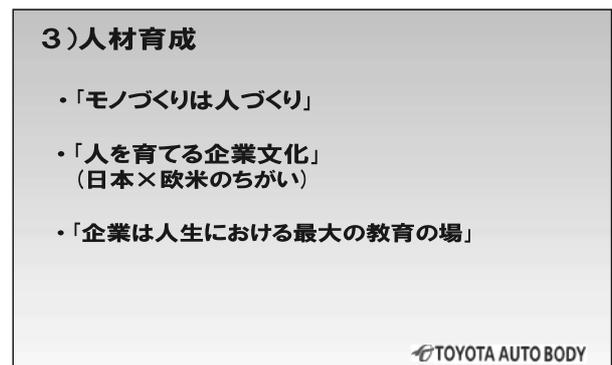
まず、現地現物については、「現場」で「自分の目」で現物を見て「事実」を確認し、5 WHY(なぜなぜ)で真因を追究することの大切さ。



次に、改善については、「ムリ、ムダ、ムラ」のある仕事をなくし、より付加価値(やりがい)のある仕事に変えていくことが改善であり、人を大切にする「人間尊重」の思想が改善のベースにあること。また、改善は無限であり、改善を止めた時点で企業の成長が止まること。



そして、人材育成については「モノづくりは人づくり」であり、「企業は人生における最大の教育の場」であることが話された。



最後に、「世界で活躍する技術者を目指して」という副題をつけた『皆さんへの期待』が4つの視点から新入生に熱っぽく語られた。

① 幅広く、深い教養と基礎学力、技術力を備えた人材

◆高い専門性、技術力を身につけるための、ベースを作る。

⇩
 <学生時代になすべきこと>

- ・大学での研究に目標を持ってねばり強く取り組む
- ・新技術動向などの情報収集ルートを作り、常に関心を持つ
- ・社会人として必要な知識、教養を身につける

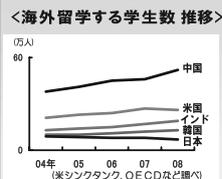
TOYOTA AUTO BODY

② グローバルに活躍できる人材

◆大学時代にしか出来ない体験をする

⇩
 <学生時代になすべきこと>

- ・語学力(特に英語力を磨く)
- ・ボランティア、就業体験を通じコミュニケーション能力を高める
- ・海外留学、旅行などを通じて異文化に触れ、柔軟に対応できる力を磨く



TOYOTA AUTO BODY

③ チャレンジ精神を持ち自ら考え自ら行動できる人材

◆失敗を恐れず、まずやってみる

⇩
 <学生時代になすべきこと>

- ・現状を変えることに果敢に挑戦する
- ・失敗を恐れず何事にも積極的にチャレンジする(失敗から何を学ぶのが大切)
- ・ハングリー精神で人に負けない競争心を持つ
- ・学生時代から自ら考え自ら行動するクセをつける

TOYOTA AUTO BODY

④ 健康な人材

◆身体のみでなく、心の健康にも気を配る

⇩
 <学生時代になすべきこと>

- ・自分に合ったストレス発散の方法を見つけ出す
- ・悩み事を相談できる同僚、先輩を作る
- ・「なんとかなるさ」のポジティブ思考を持つ

TOYOTA AUTO BODY

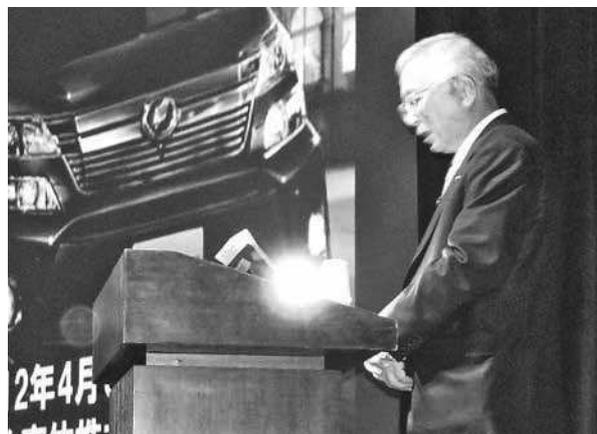
講演の締めくくりとして、経済環境は厳しい状況にあるが、日本の進むべき道は「ものづくり立国」であると考えており、そのためには、世界一良い製品を世界一安く作り続ける必要がある。厳しい環境ではあるが、新製品開発、生産技術革新、新技術開発など日本でのモノづくりを何としても守り抜く必要がある。

この困難を競争力を磨くチャンスと捉え、世界に目を向けて国を支える気概を持って一緒に「ものづくり」立国、日本再生に向けて頑張ろう！

と、強く訴えかけられた。

講師略歴：

昭和42年 本学工学部 機械工学科卒業
 昭和42年 トヨタ自動車工業株式会社
 (現 トヨタ自動車株式会社) 入社
 平成10年 同社 取締役
 平成13年 同社 常務取締役
 平成15年 トヨタ車体 取締役副社長
 平成17年 同社 取締役社長
 平成22年 同社 取締役会長 (現在に至る)



名誉博士号授与

『ごきそ』アンケート結果について

会誌「ごきそ」のアンケートにご協力いただき有難うございました。

アンケート結果は以下のとおりとなりましたので、今後の会誌の編集の参考にさせていただきます。

回答総数237通
(Q6は複数回答) 上段:実数
下段:%

Q1 年代は

10代	0	20代	0	30代	6	40代	14	50代	20	60代	58	70代	79	80代以上	49	計
				%	2.7		6.2		8.8		25.7		35.0		21.7	226

Q2 性別は

男性	214	女性	3	計
%	94.7	%	1.3	226

Q3 記事について

ジャンル		必ず読む	大体読む	面白そうなら読む	あまり読まない	めったに読まない	計
(1)	トピックス(その時期にあった特集)	61	82	82	4	4	233
	%	26.2	35.2	35.2	1.7	1.7	
(2)	交流コーナー(OB活動状況、教官の研究開発等)	37	73	98	17	7	232
	%	15.9	31.5	42.2	7.3	3.0	
(3)	プロジェクト(大学の施設、研究所等の紹介)	39	54	95	26	6	220
	%	17.7	24.5	43.2	11.8	2.7	
(4)	研究者紹介(大学の研究者紹介)	27	60	94	42	10	233
	%	11.6	25.8	40.3	18.0	4.3	
(5)	OB講演会(トップセミナー、OB講演会)	58	73	85	13	8	237
	%	24.5	30.8	35.9	5.5	3.4	
(6)	随筆・紀行・文芸(OB等からの投稿)	28	54	113	30	6	231
	%	12.1	23.4	48.9	13.0	2.6	
(7)	学生コーナー(留学生、在校生の生活等)	18	51	80	69	15	233
	%	8.1	22.9	35.9	30.9	6.7	
(8)	クラブ紹介(大学のクラブを紹介)	20	37	85	64	27	233
	%	8.6	15.9	36.5	27.5	11.6	
(9)	学内ニュース(名工大の行事等の報告)	28	83	76	41	6	234
	%	12.0	35.5	32.5	17.5	2.6	
(10)	情報ネットワーク(支部総会・同窓会・同好会・ゴルフ会等)	28	74	68	56	11	237
	%	11.8	31.2	28.7	23.6	4.6	
(11)	パズル	8	15	35	76	96	230
	%	3.5	6.52	15.2	33.0	41.7	

Q5 『ごきそ』について

毎回殆ど全てに目を通す	88	面白そうな所を読む	135	あまり関心無い	8	計
%	38.1	%	58.4	%	3.5	231

Q6 『ごきそ』への投稿について

投稿した事がある	62	投稿した事は無い	161	計
%	21.1	%	54.8	294

今後投稿する意志はある	23	今後投稿する意志はない	48
%	7.8	%	16.3

Q7 卒業後の大学訪問

1回も無い	25	10年に1回位	148	年に1回以上	59	月に1回以上	3	計
%	10.6	%	63.0	%	25.1	%	1.3	235

Q8 お住まいは

愛知県内	96	東海地区	32	簡単に大学に行けない位離れている	107	計
%	40.9	%	13.6	%	45.5	235

Q9 大学・工業会・単科会・クラブOB等について

関与している	125	関与していない	110	計
%	53.2	%	46.8	235

名古屋工業会の代議員候補者について

理事長 篠田陽史

平成24年5月26日開催の第46回名古屋工業会通常総会において、一般社団法人の定款案及び関係規則案が承認されたため、平成25年4月1日に一般社団法人へ移行するための認可申請を行います。

移行認可され設立登記した場合、平成25年度の総会は代議員で構成する第1回定期総会となるため、代議員候補者を募集しますので、立候補する方は以下に留意の上事務局まで届け出てください。

留意事項

1. 代議員の数は、支部別に別表（本誌 17ページ）の通りです。
2. 代議員候補者は以下の2種類で、(1)と(2)の合計数が支部別の定員を超過した支部について、当該支部の正会員（行方不明者及び3年を超える会費未納者を除く）による投票により決定します。
今回の募集は(2)の分です。

(1)支部長が選考する者

(2)立候補する者

3. 代議員立候補者の要件

(1)各支部に所属する名古屋工業会の正会員で、3年を超える会費未納者を除いた者

(2)所属する支部の正会員10名以上の推薦がある者

4. 立候補の届け出

立候補を予定する者は、名古屋工業会事務局まで電話、FAXまたはE-mailで連絡し、必要書類を受理すること。

5. 期限

平成24年9月30日

(注) 正会員とは、終身会員及び年会費を納める年度会員を指す。

連絡先

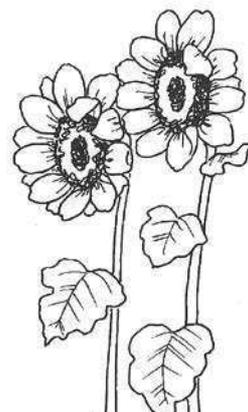
名古屋工業会事務局 〒466-0062 名古屋市昭和区狭間町4

電話 052-731-0780 E-mail : gokiso@lime.ocn.ne.jp

ごきそでパズル

(前回の答え)

	3	4	5	5	3	4	4	5
3			≠	●	●	●	>	
5	●	●	●	>	●		●	>
5	●	●		●	>			●
3	∨	●	●	=	●			
4	●	∨	●		≠	●		
			≠	●	●	>	●	
6		●		●	≠	●	●	●
4		≠		●		<	●	●
3			≠		●		≠	●



(株)ブライダルは
名古屋工業大学会員の皆様の
「結婚」を応援します。

34年の実績
(一橋大コースetc)



左のQRコードにて携帯サイトに
簡単にアクセスできます。
(一部対応しない機種がございます。)

名古屋工業大コース

これをご覧になったとおっしゃってくだされば

登録料 **50% OFF**

ブライダルコース ¥220,500 ▶ ¥204,750 etc.

エクセレントコース ¥378,000 ▶ ¥362,250 etc.

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

- 成婚率は業界トップクラス。
- 入会審査有り。
- 都庁・官公庁・有名大学などでメディア展開。
- お客様満足度NO.1のお世話を目指し少子化問題にも貢献。

株式会社 **ブライダル** お問い合わせ (月曜定休) ☎0120-415-412
http://www.bridal-vip.co.jp
名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
Network 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

建設 不動産コンサルティング 調査 設計 企画



株式会社 **前田組**

代表取締役 前田 靖

〒466-0031
名古屋市昭和区紅梅町3-3 円昭ビル2F TEL052-852-2225
http://www.maeda-gumi.com

株式会社 **円昭**

代表取締役 前田由紀夫



〒466-0031
名古屋市昭和区紅梅町3-3 円昭ビル2F TEL052-841-2701
http://www.enshow.com

企画から製本まで承ります。

企画・デザインから製本まで
トータルサポートでお直打ち!!

デザイン

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カタログ・パンフレット・ポスター・定期刊行物 etc.

タイプ・電子組版時代から築き上げられたノウハウはDTPにおいて、特に不得意とされる縦組みの書籍・表組みの良物も得意分野です。

印刷

カラー印刷・2色刷り・1色刷り・特色刷り・品質・部数・ご予算に応じて提供いたします。

Macintoshのみならず、ワード・大判等の通常のラセット印刷に適さないWindowsデータの出力ノウハウもありますのでご相談ください。

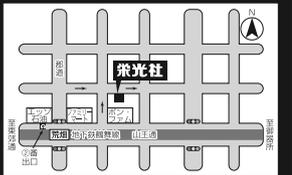
製本

自伝史・体験記・詩歌・俳句・小説・エッセイ・童話・絵本等、自分の本を作りた

いとお考えの方、各種でデジタル・広報・配布文書・名刺・クラブ・サークル誌・宣伝物等、製本でお困りの学生・法人の方、少ロットよりお手伝いします。

総合印刷の
有限会社 **栄光社**

〒466-0014 名古屋市昭和区東畑町一丁目42番地
TEL:(052)741-7701
FAX:(052)741-7703
URL http://www2.ocn.ne.jp/eik/
E-mail eikou@theia.ocn.ne.jp



特許業務法人
英知国際特許事務所

EICHI Patent & Trademark Corp.

所長 弁理士 岩崎 孝治

— 知財の総合コンサルタント —

東京本部 〒112-0011 東京都文京区千石 4-45-13
TEL:03-3946-0531(代) FAX:03-3946-4340
神奈川支部 〒224-0006 横浜市都筑区荏田東 1-23-2
TEL:045-532-3827 FAX:045-532-3828
浜松支部 〒430-0806 静岡県浜松市中区木戸町 5-11
TEL:053-461-5662 FAX:053-460-6027
山形支部 〒994-0026 山形県天童市東本町 1-2-20
TEL:023-651-6102 FAX:023-651-6102

http://www.eichi-patent.jp

60名のデンソー等企業出身者が御社の課題を解決します!

技術支援

メカから電気・電子、半導体まで
開発設計、品質、生産技術、生産まで

研修・講演

技術系全25講座 ー材料、加工、設計、電気・電子、
組込コンピュータ各種要素技術…
品質系全30講座 ーDRBFM、なぜなぜ分析など
各種未然防止手法
マネジメント系全10講座 ー経営品質、もしどらリダーシップ、
プロジェクト管理…

WORLDTECH

株式会社**ワールドテック**

代表取締役 寺倉修 (F50)

〒458-0901 名古屋市中区錦2-15-22りそな名古屋ビル7F
TEL:052-219-6025 FAX:052-219-6026
E-mail:solution@worldtech.co.jp

広報委員会

委員長 森川 民雄 (W45)

前田 健一	山口 啓 (C49)
北川 啓介 (A⑧)	安楽 崇宏 (M⑧)
大羽 達志 (MF③)	廣瀬 光利 (E50)
中村 剛士 (EJ⑤)	野中 久義 (D⑨)
高木 幸治 (ZW⑤)	道家 清正 (Y30)
吉野 明広 (G53)	宮地 義彦 (K50)
本多 沢雄 (ZY⑥)	守田 賢一 (F47)
米谷 昭彦 (F60)	犬飼 伸宏
横山 淳一 (Fb⑥)	

会誌「ごきそ」のバックナンバーは、名古屋工業会のホームページ
http://www.nagoya-kogyokai.jp/でご覧いただけます。